

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童通所支援事業所りらく可部				
○保護者評価実施期間	2024年 10月 1日		～	2024年 11月 30日	
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	38	(回答者数)	16	
○従業員評価実施期間	2024年 10月 1日		～	2024年 11月 30日	
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	21	(回答者数)	21	
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 12月 1日				

○ 分析結果

	事業所の強み (※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にしている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童様達が思い切り体を動かし発散運動を行い楽しめている	定期的に活動内容を変えていき活動内容なども児童様からアンケートをとり決めている。	児童様同士のコミュニケーションの架け橋を行い活動の輪を広げていく
2	構造化がされている	クールダウンや勉強支援がおこなっており、学習に集中しやすい環境を整えている。	落ち着ける音楽などの取り組みをおこなっていく
3	定期的な外出支援や季節行事を行っているいき四季を楽しめる内容となっている	疑似体験ではなく実際に体験して頂く為に買い物支援や施設利用などを行い公共の機関のマナーなどを学びながら楽しめるように計画を作成している	児童様達に計画を立ててもらいPCを使い行先のルール等調べて出発するなど児童様達の考え方を大事にして楽しめるように行っていく

	事業所の弱み (※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用希望をだしても利用できない日がある	利用希望が殺到しており定員に見合っていないため	新しい事業所を立ち上げキャンセル待ちが出にくい環境を整えていく
2	マンツーマンでの対応がむずかしい	スタッフが固定ではないため、集団での活動等をおこなない、個別でマンツーマンは対応できない	小集団での活動提供などもおこなっていく
3	職員の支援方法のスキル	未経験者の職員もいるため発達支援についての知識が浅いことが要因と考えられる	定期的な研修を行っていきスキルアップを図る

公表 保護者からの事業所評価の結果

事業所名 児童虐待支援事業所 りらく司庫		公表日 令和7年2月1日				初年度評価 38		目標値 16	
評価項目	子エニツグ項目	はい	どちらとも	いいえ	ご意見				ご意見を添えてお送りください
児童・保護者の関係構築	1 子どもの活動のスペースが十分に確保されていると聞きますか。	14	2						
	2 施設の配置数は適切であると聞きますか。	13	1	2					人数が少ない時は大変そうに聞えるとお聞きします。65〜68名で職員を配置しておりますが、児童や保護者の対応では手薄になる可能性があります。他機関と連携して今後の対応も共有してまいります。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構成されていると聞きますか。	14	2						
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると聞きますか。	13	2	1					
	5 かに清潔し、こどもの特性に応じた専門性のある環境が整っている	14	2						
	6 入居している児童プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると	14	1	1					
	7 ニーや保護者が積極的に参加された上で、支援者デザイナー・ピアサポート	14	1	1					
	8 児童や保護者が、活動の場や生活空間で、安心して過ごすことができる	14	1	1					
	9 児童や保護者が、活動の場や生活空間で、安心して過ごすことができる	14	1	1					
児童・保護者の関係構築	10 事業所の活動プログラムが、こどもの発達や生活習慣に合わせたものと	12	3	1					
	11 事業所の活動プログラムが、こどもの発達や生活習慣に合わせたものと	2	4	6	4				
	12 事業所の活動プログラムが、こどもの発達や生活習慣に合わせたものと	15	1						
	13 「児童や保護者が、活動の場や生活空間で、安心して過ごすことができる	14	1		1				
	14 事業所の活動プログラムが、こどもの発達や生活習慣に合わせたものと	3	3	6	4				
	15 日頃からこどもの状況を把握できると聞きますか。	13	2	1					入居の期、子どもの様子などについて、今後も定期的に情報共有をさせていただきます。
	16 定期的に、保護者や子どもと面談する機会があるか。	12	2	1	1				
	17 事業所の活動から保護者や子どもと面談する機会があるか。	15	1						
	18 父母の生活の状況や、保護者や子どもの関係など、関係者の関係が	2	4	4	6				
児童・保護者の関係構築	19 日頃からこどもの状況を把握できると聞きますか。	12	2	1					
	20 こどもや保護者との関係が、こどもの発達や生活習慣に合わせたものと	14	1	1					
	21 定期的に、保護者や子どもと面談する機会があるか。	8	3	5					
	22 個人は他の職員に十分に連携できているか。	12	1	3					
	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防災マニ	10	1	5					
	24 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防災マニ	10	1	5					
	25 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について聞か	12	1	3					
	26 事業所の活動が、こどもの発達や生活習慣に合わせたものと	10	1	5					
	27 こどもは安心して生活できているか。	15	1						
児童・保護者の関係構築	28 こどもは活動を楽しんでいるか。	14	2						いつもリリリで遊びの楽しさを伝えて、活動プログラムに楽しみが感じられるよう努めます。
	29 事業所の活動が、こどもの発達や生活習慣に合わせたものと	15	1						

[illegible]